

- 特集 荒馬まつり…… 1
- 荒馬交流10周年・成人式
まちの話題…… 2、3
- 新幹線情報・お知らせ
…… 4、5
- イマダス・きりりこの人
…… 6

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/総務課企画担当 ☎ 0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.imabetsu.net.pref.aomori.jp>



今別ねぶた実行委員会のねぶた



合同運行での大川平荒馬



飛び散る汗もさわやか東大付属中学生の荒馬!

8月4日、午後6時の合同運行から始まった今別町観光協会(佐藤英輝会長)主催の「荒馬まつり」。合同運行参加団体は八幡町町内会、大川平荒馬保存会、村元子ども会、今別ねぶた実行委員会で、5日からは町内を自由運行しました。期間中は猛暑続きでしたが、荒馬もハネトも暑さを吹き飛ばす勢いで観光客を巻き込んで乱舞しました。

東京都の和光小学校、宮城教育大学、京都の立命館大学、東大付属中学校などから今年も多く of 県外参加者があり、荒馬の魅力に酔いしれました。



和光小学校児童の荒馬(合同運行で)



指先まで決まっています! 連合婦人会の流し踊り



“ほだら太鼓”を響かせた“なぬがび..”



八幡町町内会のねぶた



「ラッセラー」



「ラッセラー」



今年には猛暑の“なぬがび”でした。今別ねぶた実行委員会のネプタが本覚寺境内で乱舞し、ぼだら太鼓(戻りばやし)の音を響かせ今別町中央公民館まで練り歩き、今年 of ねぶた祭りのフィナーレを迎えました。

かつて各地区の子供会単位でねぶた運行した頃、“なぬがび”は青年団のネプタがラストを飾りました。仮装した人々の参加もあり、子どもの手を引いた人々がネプタについて行き、だんだん人数が増えていきます。

最後に本覚寺で乱舞するころは、ハネト、荒馬、見物人で境内は溢れかえっていた光景が思い出されます。

最近では県外から参加する団体も定着しつつあり、祭りを一層盛り上げています。一度参加したらとりこになる魅力のある「荒馬」。郷土芸能・文化を大切に伝えていきたいものです。

特集

躍動する荒馬・乱舞するハネト 猛暑を吹き飛ばす 8月4日〜7日 荒馬まつり

荒馬交流10周年！大川平荒馬保存会と京都の「和太鼓ドン」



これからのネプタ運行について飲みながら議論を交わしている大川平住民の様子を演劇で・・・このあと、学生たちがやってくるのです。

大川平地区に、京都の立命館大学の学生を中心とした「和太鼓ドン」の若者がネプタの期間にやってくるようになってから10年が経過しました。

そこで8月7日に、大川平荒馬保存会（宮越哲英会長）では交流10周年の記念行事を開催しました。「荒馬まつり」の最終日に大川平地区内をネプタ運行し、ゴールの大川平橋で参加者全員で記念撮影（左上の写真）。その後、大川平文化会館で記念行事が行われ、劇団「のんべい」の皆さんが、県外の学生が「大川平荒馬」を教えてほしいと来た日のことを演劇で披露しました。

会場は地区住民や荒馬まつりに参加した学生約60名の合わせて200人近い人々であふれ、劇団員の迫真の演技に大爆笑です。

県外からは「バチ・ホリック」、「和太鼓ドン」、「荒馬 緒（ちよ）」、「民族舞踊

団 音舞（おんぶ）」などの団体が参加し、地元からは

「手踊り」や「つがる海峡ちやか親童・北天舞悠」のよさこいなどが参加し、それぞれ演技を披露しました。

中には交流が始まった10年前から毎年大川平に来ているといふ池田直子さん、小松慶充さんがいました。すっかり「大川平」と「荒馬」に魅了されたようです。「バチ・ホリック」所属の池田直子さんは華麗な手踊りを披露してくれました。劇団「のんべい」の劇はことばがほとんどわからないという県外の学生たちでしたが、「大川平の方々の伝統芸能を後世に伝えていこう」という意気込みと、この団結力がすごいと思う」と興奮した表情で語ってくれました。

宮越会長は「会員や地域の皆さん、そして10年間参加してくれている学生のご協力で、今年もねぶた運行できました。大変ありがとうございました」とお礼の言葉をのべました。

暑い暑い、なぬがび。大川平地区の皆さんの学生をもてなす心はさらに熱く、民族無形文化財の「大川平荒馬」を守っていくこうとする姿勢に感動した学生たちとの交流が、今後も続いていくことを予感させる一日でした。



「のんべい」の劇を真剣な表情で観劇する学生たち



池田直子さんの手踊り

懐かしい顔と思い出の品々 ～旧開智小学校～

閉校から
10年

平成12年3月に閉校した「開智小学校」の校庭で、8月14日、10年ぶりに歓声が響き渡りました。今別小学校に統合することに決まった時、10年後の再会とタイムカプセルを開けることを約束しました。閉校当時の渡邊和雄教頭（現在は青森市立長島小学校長）は毎年、年賀状で平成22年8月の再会を当時の在校生に確認してきました。そして10年後のこの日、当時の熊谷佐利校長はじめ教職員や23名の在校生のうち13名が出席し、応援に駆け付けた父兄の合わせて30数名が見守る中、円形のタイムカプセルが姿を現すと大歓声があがりました。

当時の1年生は現在は高校生です。「手形や写真を入れた」と、しっかりと覚えていました。しかし、高学年や男子は「何を入れたかさっぱり思い出せない」と苦笑い。カプセルを開けると、作文や絵などが次々と出てきました。中にはお母さんからの手紙も出てきて、親子で覚えがなく、驚きと感動で夢中になって読んでいました。



カプセルが見えた時は感動的でした！



校舎をバックにタイムカプセルと参加者で記念撮影

母の長寿を祝う あるさどに感謝

与茂内にお住まいの中島カネヨさんは今年10月に満90歳の誕生日を迎えます。今年のお盆に子ども達7人が勢ぞろいし、母の長寿を祝いました。そして7人の兄弟たちは、母を囲み、兄弟全員が健康であることに感謝し、ふるさとに恩返しをしたいと話し合い、寄付金を贈ることにしました。



カネヨさん（後列中央）を囲んで7人兄弟が勢ぞろい

8月16日、カネヨさんと同居している長男の中島進さん夫婦が町教育委員会を訪れ、小学校の図書購入等に役立ててほしいと澤田渉教育長に10万円の寄付金を手渡しました。ありがとうございます。

「町民ふれあい文庫」オープン



青森銀行から寄贈された今別支店が、町民が気軽に利用できる施設「町民ふれあい文庫」として8月2日にオープンしました。

同施設は町の中心に位置し、町民がバスの待ち時間や、憩いの場所として気軽にご利用いただけるよう、図書スペースの他に休憩スペースや子ども達が集えるキッズコーナーも設けられています。利用時間は午前10時から午後3時までで、毎週日曜日・月曜日、国民の休日、年末年始（12月28日～1月4日）は休館となります。

新成人の輝く笑顔は今も昔も変わりなく ～今別町成人式の移り変わり～

今別町の成人式は昭和45年までは1月15日の「成人の日」に開催されていました。それが、冬は交通の便が悪いことや夏には帰省する方々も出席できることなどから、昭和45年（昭和25年生まれの方々）から夏のお盆の時期に開催されるようになりました。

昭和44年1月号「広報いまべつ」の成人式の記事は、「出席者の服装も華美になり、成人の日の意義が忘れられがちになっていることが問題」とありました。

そして、昭和46年8月号では「好評な夏の成人式、服装も簡素で有意義に」との見出しです。それ以後は夏の成人式が定着し、現在に至っています。



初めて今別町中央公民館で開催された成人式（昭和40年1月）
【田中 徹氏（奥平部）提供】



第1回目の夏の成人式。このときの新成人は今年還暦を迎えました。
【田中裕文氏（大川平）提供】

今年は48人が大人の仲間入り



平成22年度 今別町成人式

8月15日、今別町中央公民館において平成22年度今別町成人式が開催され、新成人48名のうち39名が参加しました。

昨年リニューアルされた中央公民館で成人式が開催されるのは、33年ぶりです。昭和52年8月に昭和32年生まれの方々が、中央公民館で成人式を行って以来です。

その後は町立体育館、開発センター、交流センターと会場を移し、昨年は荒馬の里活性化センターで開催されました。

式典は新成人の田中裕大さんの進行で行われ、小鹿町長の式辞、長島町議会議長が祝辞を述べました。

恩師の中津大輔先生と沼岡典明

先生から新成人の紹介がされ、新成人は一人ひとり近況を報告。「大学卒業後は報道関係に進みたい」、「今別へ帰り企業を興したい」などたのもしい夢が語られました。

新成人を代表し嶋中智慧さんが「大人としての自覚を持ち、社会の一員として最善の努力をします」と誓いの言葉を述べ、その後、小鹿町長と上山町選管委員長から記念品が代表の阿部周平さんと川村香子さんへ手渡されました。式典終了後は思い出のビデオ上映が行われ、久しぶりに会った先生や仲間と思ひ出話に花を咲かせていました。

バレーボール競技 第3位 ～県民体育大会～



賞状を手にする田中とみ子
主将(右)と田中裕文監督

7月31日につがる市稲垣体育館で開催された第65回市町村対抗青森県民体育大会「家庭婦人バレーボール」競技で、今別町チームは第3位に輝きました。

1回戦は鶴田町に快勝し、続いて宿敵の平内町にも勝ち勢に乗ったと田中とみ子(村元)主将は語ってくれました。

準決勝は板柳町と対戦し、接戦のすえ惜しくも敗れましたが、結果は第3位と大健闘しました。

野外活動リーダー研修会

7月29日・30日の2日間、海峡の家「ほろづき」において野外活動リーダー研修会が開催されました。研修会には児童24名が参加し、食事作りや後かたづけ、レクリエーションや野外観察、創作活動などを通じて友達同士が協力し合うことを学び、学校や家庭では味わえない楽しさを感じる事ができました。

2日目のお昼には「長いいのり巻き」作りに挑戦です。長い廊下ですだれや具材を準備し、彩りや味を考えて巻いていきます。出来上がった時は大歓声上がり、早速、味を確かめました。「超おいしい！」皆で作ったのり巻きは美味しさも格別です。



12mの長～いのり巻きの完成です

脳を元気にする「音読教室」



できるだけ早く音読するのがコツ

東奥日報今別販売店（小倉宏昭店主）と町教育委員会では、7月から12月までの半年間に月2回、中央公民館で「脳を元気にする音読教室」を開催します。

2回目となる7月20日は、東北大学の川嶋隆太教授の講演のビデオを鑑賞した後、「糠塚キユウリ」という民話をできるだけ早く2回音読しました。早く読むことによって脳を活性化させます。脳を元気にすることは人生を楽しむための手段です。皆さんも脳を元気にしませんか？

教室にはいつからでも参加できます。参加ご希望の方は今別販売店までお気軽にお電話ください。

電話 3612004



荒内 俊樹 君 (今別中出身) ボクシング ミドル級で優勝

高校生の全国チャンピオン

沖繩県の豊城高校体育館で行われた全国高校総合体育大会(インターハイ)ボクシングのミドル級で、青森工業高校3年の荒内俊樹君が優勝を果たしました。青森県勢で全階級を通じて個人優勝は24年ぶりで、青森工業高校は初の学校対抗優勝の快挙です。俊樹君は今別中学校では野球部でしたが、高校へ進学してからボクシングを始めました。練習が休みの日もあり野球より時間的余裕があると簡単に考えて始めたそうです。それでも今別から列車で通学している練習時間が制約されるため、父の実家の平内から通学し、ボクシングに打ち込みました。野球などのチームプレーと異なり、個人プレーのボクシングが俊樹君には合ったようです。「強くなりました」「気持ちが強くなり、相手を倒す時の気持ちの良さは最高」だと語ってくれました。高校卒業後は大学に進学しただけでまだ技術を磨き、オリンピックに出場するような選手になりたいと夢を語ってくれました。

東北新幹線全線開通が12月4日に決定しました。県内では「新青森駅」・「七戸十和田駅」が新たに開業します。5月には国土交通省が「新青森」から「新函館」間の工事実施計画を認可し、いよいよ北海道新幹線関連工事が平成27年の開業に合わせて急ピッチで進むこととなります。町では、東北新幹線全線開通と北海道新幹線の早期完成をPRするため、8月2日にオープンした町民ふれあい文庫(旧青銀今別支店)前に大型看板を設置しました。また、北海道新幹線(仮称)「奥津軽駅」のPRを推進するため、町内の商店や各地区集会所等の協力を得てポスターを掲示しています。



北海道新幹線情報 No.16

(旧青銀今別支店前に設置された看板)

(仮称)「奥津軽駅」の駅舎デザインコンセプトの募集!

町では、(仮称)「奥津軽駅」の建設に係る意見や提言、駅舎デザインコンセプトを下記のとおり募集します。

- ・デザインコンセプトとは…新駅舎の骨格となる発想や概念を示す言葉です《あくまでも「絵(図柄)」ではなく「文言」による応募となります。》

デザインコンセプトの参考

- ・七戸十和田…心安らぐ豊かな自然と歴史の感じられる駅
- ・新青森駅…縄文から未来へーほっとして郷愁が感じられるあずましい北の駅

応募方法

- ・下記必要事項を記入の上、封書、ハガキ、ファックス等でご応募ください。
①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤デザインコンセプト、意見、提言等
- ・ご応募いただいたデザインコンセプト、意見、提言等は所定の審査検討を行った後、関係機関と協議のうえ、駅舎建設主体である鉄道・運輸機構に対し新駅舎のデザイン(画)に反映していただくよう町から要望することにしてあります。

締切 平成22年9月30日(木)

《問い合わせ・応募先》

〒030-1502 今別町大字今別字今別167 今別町役場 総務課 新幹線対策担当
TEL 0174-35-2001 FAX 0174-35-2298

新ALT(外国語指導助手)紹介

今別町のみなさん こんにちは!
ハワイ出身の「サクダ・シャロン・エミコです。」

Q 顔も名前も日本人のようですが…

A 父母は日本人です。

アメリカに移住し、アメリカ国籍を取得しました。私はハワイホノルルで生まれました。姉が1人います。

Q どんな抱負を持って日本に来ましたか?

A 今別の皆さんと友達になりたいと思います。いろんなことにチャレンジしたいです。



Q 今別に来る前は何をしていましたか?

A 学生です。オレゴン大学で日本語とフランス語を勉強しました。

Q 今別の印象は?

A 小さな町ですが、みんなやさしそうだと思います。ハワイから来たので「雪」を楽しみにしています。

Q 趣味はなんですか?

A 料理と食べることが好きです。音楽とダンスも好きです。オレゴン大学でフラダンスを教えました。スポーツはサッカーが好きです。

皆さんの地区の担当調査員をお知らせします

氏名	調査地区
川村 弘江	浜名
澤田 しぎ	浜名
嶋中 文子	西田
佐藤 孝子	西田
三上 まさ子	今別
山内 和子	今別
澤田 智子	なかやま荘
嶋中 久美子	中央団地
田中 さよ子	今別
澤田 なみ	八幡町
中嶋 栄子	八幡町
相内 久子	二股
中村 加奈子	大川平
宮越 幸子	大川平
本郷 まつ子	大川平
本島 佳奈子	鍋田・関口
田中 とみ子	村元
石岡 多江子	村元
佐藤 喜代子	山崎
吉田 清志	大泊
稲葉 喜代治	裏月
藤巻 ひとみ	砂ヶ森
最上 勇人	奥平部

10月1日現在で全国一斉に国勢調査が行われます! 9月下旬から調査員がお伺いします。

国勢調査は大正9年から5年ごとに実施し、今回は19回目となります。日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とした統計調査で、平成22年国勢調査は、人口減少社会にある日本の未来を描く上で、欠くことのできないデータを得るために実施します。

左の表の調査員が担当地区のお宅を訪問し、調査票と提出用の封筒をお配りします。また、「国勢調査のお知らせ」のリーフレットが事前に配布されますのでご覧ください。

今回の調査は

- 記入した「調査票」は封をして調査員に手渡すか、郵送での提出もできます。
- 調査員は封筒を開封することなく、役場に提出します。
- 調査票に記入もれなどがあった場合には、確認のため役場国勢調査担当から連絡することがあります。
- 分からない点は、調査員にご相談ください。また、コールセンター(0570-01-2010)にお問い合わせ下さい。
- ご安心ください。個人情報を守られます。

連絡先 役場 総務課企画 今別町国勢調査担当
代表電話 35-2001 直通電話 35-3012

調査員は「国勢調査員証」と「国勢調査従事者用腕章」を身に付けています。調査票を手渡す時は、調査員であることを確認してから渡してください。



ラブいまべつ会 銀ブラと懐石料理を楽しむ集い

今年の「ラブ・いまべつ会東京交流会」を下記のとおり開催します。(会未加入者の参加も大歓迎です。ふるってご参加ください。)

- 日 時 平成22年10月31日(日) 11:30~14:00
- 会 場 銀座7-7-4「たらふく」新館
- 会 費 大人5,000円(大人の参加に限る)
当日徴収します。
- 内 容 銀ブラと懐石料理を楽しむ
- 参加対象 ラブ・いまべつ会員とその家族
- 申 込 平成22年10月5日まで
- 集 合 JR新橋駅 SL広場に11:00
- そ の 他 ・申込キャンセルは10月25日までとします。
・参加希望者は10月5日までに電話で事務局(今別町役場 企画担当0174-35-3012)へ連絡下さい。

※ラブ・いまべつ会は結成19周年を迎えました。現在の会員は140名程です。今別町出身者であればどなたでも加入できます。会員には広報紙を毎月お届けしています。[会費は年間2,000円]
加入希望者はお気軽に事務局へご連絡を
TEL0174-35-3012(役場 企画担当)

国民年金保険料の前納について

割引がありおトクです!

国民年金では、保険料を前払いすると割引がある「前納」という制度があり、口座振替による「前納」と現金納付やクレジットカード納付による「前納」があります。

なお、口座振替で「前納」されると現金納付やクレジットカード納付による「前納」よりも割引額が多くお得です。「前納」についてのご相談は、お近くの青森年金事務所へお尋ねください。

《問い合わせ先》 青森年金事務所 国民年金課
TEL 017-734-7499

領収書にかかる印紙税のお知らせ

売上金の受領金額が3万円以上の領収書等を作成した場合、印紙税の納付が必要です。次のような場合も領収書と同様に金銭の受け取りを証明する書類ですので、印紙税が課税になります。

- レジスターから発行されるレシート
- 領収印を押印して発行した請求書、納品書等
レシート等に所定の金額の収入印紙を貼り、印鑑等で消印することによって納付したことになります。

《問い合わせ先》 青森税務署 TEL 017-776-4241

米のトレーサビリティ制度が始まります!

トレーサビリティとは米及びその加工品の移動を追跡するための仕組みであり、米穀事業者は入出荷の記録(22年10月から)と産地情報の伝達(23年7月から)が義務づけられます。農業者を含めて販売、輸入、加工、製造または提供の事業を行う全ての皆さんが対象であり、対象品目は米穀(玄米、精米等)のほか、米粉、米菓生地、米こうじ等の中間原材料、弁当、おにぎり等の米飯類、もち、だんご、米菓、清酒、単式蒸留焼酎、みりんです。

詳細については、青森農政事務所食糧部計画課へ

住所 青森市本町2丁目10-4

TEL 017-775-2155

こんにちは。保健師です。
~すすめよう 健康いまべつ21~
あなたはよく眠れていますか?



9月10日は世界自殺予防デー。

9月10日が世界自殺予防デーであるのに因んで、9月10日~16日まで「自殺予防週間」として、全国各地では様々な取り組みが行われます。青森県は自殺による死亡率が、全国ワースト2位(平成21年)で、ここ数年は年間500人以上の方が自殺で亡くなっています。

日本全体では年間約3万人以上の方が自殺で亡くなっています。

自殺の原因には、失業、倒産、多重債務、健康問題、家庭問題、死生観など、様々な理由が複雑に絡み合っていると思われますが、何らかの精神的な悩みを抱えている方も少なくありません。(約75%以上)なかでも「うつ病」という病気が、自殺の原因として考えられます。

当事者本人ではどうにもならないことがありますので、周囲の気づき、協力が自殺を防ぐ、重要なカギになります。

あなたが大切な人の話をじっくり聞く。たったそれだけのことで、救われる人がいます。

よく眠れない...



うつ病の症状のひとつに「よく眠れない」という症状があります。眠れないと、疲れがとれないだけではなく、精神的に追い詰められることもあります。眠れないことが2週間以上続く場合は、うつ病のサインであることもあります。うつ病のサインにはほかにも「集中できない」「やる気が起きない」「死にたくなる」「だるい」「頭痛や肩こりがする」「食欲がわかない」などがあります。

来る9月22日(水)に開催されます「生きがい健康づくりと敬老のつどい」において、保健協力員さんによるうつ病をテーマにした寸劇が上演されます。他にもうつ病に早期に気づくためのお話などもありますので、ぜひご近所お誘い合わせの上、お越しください。

「平成22年度今別町生きがい健康づくりと敬老のつどい」

日 時: 9月22日(水) 午前10時~

場 所: 開発センター

送迎バス等につきましては、後日配布される毎戸チラシをご覧ください。

【地デジ相談会のお知らせ】

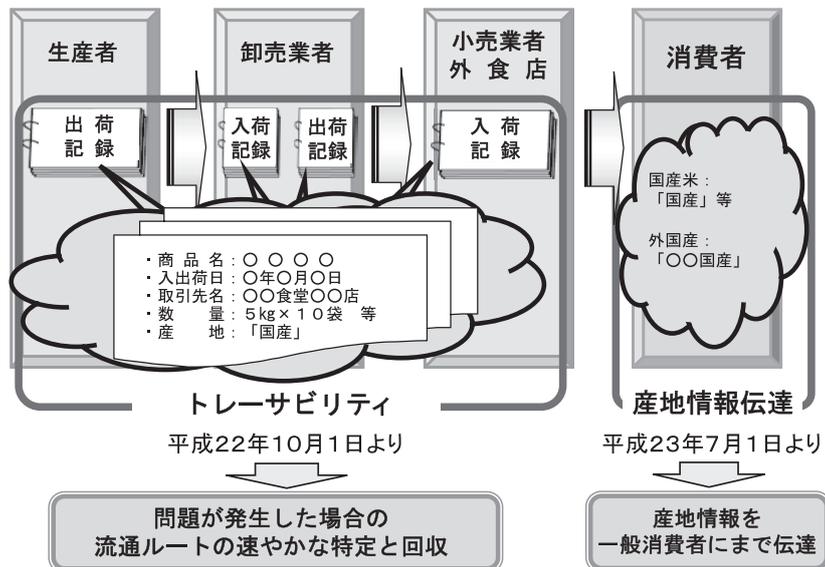
日 時 平成22年9月13日(月) 午前10時~午後4時

場 所 今別町中央公民館

デジサポ青森主催の「地デジ」の疑問にお答えする相談会です。地デジ放送についての疑問や不安をお持ちの方は、お気軽に会場へおいでください。

《お問い合わせ先》 デジサポ青森 017-722-1831

役場 総務課企画 0174-35-3012



問題が発生した場合の
流通ルートでの速やかな特定と回収

産地情報を
一般消費者にまで伝達

イマダス

まちの行事予定 (9/1~10/10)

※行事予定名・開催場所・担当課を掲載しています。

9/1 (水)	・特定健診《多目的集会所》	福祉
2 (木)	・今別小・知内小学校交流学習《知内町》	教育
3 (金)	・献血《開発センター・中央公民館》	福祉
5 (日)	・第18回県民駅伝競走大会	教育
11 (土)	・今別保育園運動会	保育園
12 (日)	・2010スポレクフェスティバル in いまべつ 《今別中学校》	教育
13 (月)	・地デジ相談会《中央公民館》	企画
16 (木)	・特定健診《褒月会館》	福祉
17 (金)	・東郡中体連秋季大会(蓬田村) 18日まで	教育
21 (火)	・秋の全国交通安全運動 (30日まで)	総務
22 (水)	・生きがい健康づくりと敬老の集い: 午前10時~《開発センター》	福祉
26 (日)	・特定健診《開発センター》	福祉
	・国民健康保険税第2期納期限	税務
30 (木)	・介護保険料第2期納期限	福祉
	・後期高齢者医療保険料第3期納期限	町民
10/3 (日)	・今別小学校学習発表会	教育
10 (日)	・いまべつ秋まつり《開発センター》	実行委

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」
①氏名 ②地区名 ③将来の夢



①大田 蘭丸くん
②山崎 蘭丸くん
③普通に暮らせること
最上級生として、小学校を引く張つて行かなければならぬ。6年生の大変さはおどろいています。勉強の方では、社会と算数をがんばりたいです。中学校になると、とても難しい問題がいろいろあるので、ついていけるようにしたいです。がんばります。最上級生としてがんばるとも、中学校に向けているんなことにチャレンジしながらがんばっていきます。



①中島 楓花さん
②与茂内 看護士
③看護士
わたしは、将来、看護士という職業につきたいと思つています。そのために、今からたくさん勉強しているんなことを身に付けたいと思います。頑張ります。6年生で一番楽しみだった修学旅行に行つて、とてもきれいな夜景を見られて良かったです。とてもいい思い出になりました。

いまべつ秋まつりのお知らせ

日時 平成22年10月10日(日) 午前9時から
場所 今別町開発センター
《予定されるイベント等》
★今別牛肉販売 ★町文化団体の作品展示
★マグロの解体、即売 ★野菜・海産物の販売
★北天舞悠のよさこい演舞 ★歌謡ショー
《お問い合わせ》
「いまべつ秋まつり実行委員会」
文化部門 今別町教育委員会 TEL 35-2157
産業部門 役場産業建設課産業 TEL 35-3005

戸籍の窓口 (7月1日から31日までの届出分)

お誕生おめでとうございます

伊藤 陽生(毅) 西田	今別の姿 (平成22年7月31日現在)
面積 125.28km ²	人口 3,467人(-11)
男 1,625人(-6)	女 1,842人(-5)
世帯数 1,577 (-2)	()内は前月比

お働きお疲れ様です

能戸 常信(96) 西田	男 1,625人(-6)
堂端 榮(83) 今別	女 1,842人(-5)
相内 助直(79) 鍋田	世帯数 1,577 (-2)
新山 ツマ(96) 今別	()内は前月比
田中 トキワ(87) 奥平部	

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。

編集後記

今年の夏は暑く、「日本熱島」、「猛暑」、「熱中症」の文字を新聞やテレビで毎日のように目にしました。
今月号の広報でも何度「猛暑」の文字が飛び交ったことか・・・
そして、町の話題も熱いものが多くありました。荒内くさんがインターハイで優勝。高齢の親の所在も分からない人もいる。昨今、90歳の母を祝し、兄弟が勢ぞろい出来たことに感謝する人たち。荒馬を全国に広めようとする人たち。熱い夏でした。
(広報担当) 木津歌子

大川平荒馬保存会会員で、笛を吹く女子高校生の明田里穂さんを紹介いたします。
いろいろなイベントや夏の荒馬まつりなどでも、笛を吹く里穂さんは引張りどころです。
中学生までは子供会に入っていたので、荒馬保存会へは高校生になってから入りました。小学校低学年までは「太刀振り」や荒馬の「手綱とり」をやっていたという里穂さん。それが



愛用の笛を手にする里穂さん

きょうり
この人
⑥
明田里穂さん
(大川平 17歳)

5・6年生のころ笛に興味を持ち笛を吹くようになったと話してくれました。それも先輩たちの指の動きを見て、自分で覚えていったそうです。今は、県外からやって来る学生への指導的立場ですが、「指導なんてできない」と謙遜しながらも堂々と笛を吹いている姿は、県外学生たちのあこがれのようです。学生たちも里穂さんの指の動きを見よう見まねで笛吹きを習得しようとするほどです。
8月1日に大川平子供会で地域をネタ運行しました。終わって昼食を食べひと休みしているとき、小学生たちが里穂さんを慕って周りに集まってきました。穏やかでやさしい雰囲気、里穂さんはとても人気があるようです。そばにいた小学生の女の子たちに、中学生になれば笛を教えると話していました。「大川平の笛」と「今別の笛」の違いを見事な指使いで吹いてくれました。
里穂さんは高校3年生です。進路を尋ねると青森市内の短大に進学し、将来は保育士をめざすと語ってくれました。



8月7日、記念行事の前に宮越会長、観光客らと写真撮影(後列ひだりから3人目が里穂さん)

「声かけて 知らない人が いない町」